

分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会
No. 5 8 2 0 1 2 . 7 . 1 6
発 行 責 任 者 柿 本 克 彦
編 集 責 任 者 教 宣 部

自己保身の為に時系列等報告書を強要！

田中助役は担当社員に謝罪しろ！！

7月10日朝、Z19編成11号車多目的室開き扉の未施錠を、乗務員が車内点検時に発見したという申告が指令にあがり、指令から検修当直に連絡があった。この事象に対して、会社は7月9日にZ19編成の車内点検を担当した仕業検査班の社員を呼び出し時系列等報告書を強要しました。

管理者が、まったく事実関係を把握していない！

担当社員は、多目的室開き扉未施錠の事実関係を管理者に聴くと、Z19編成が鳥飼車両所を出庫した後他所で整備を行ったという事ですが、それが「何処で行ったのか分からない」そして「どの行路で乗務員が発見したのかもわからない」という何とも情けない返答でした。まったく事実関係を把握せず、一方的に担当社員に時系列等報告書を強要したということです。

担当した社員にはまったく関係がない！！

そして、7月11日担当社員に対しZ19編成が鳥飼車両所から出庫する際に車内点検を行った乗務員から、11号車の多目的室開き扉は施錠されていたとの報告があったので、担当した社員には何も関係が無いことが田中助役から明らかにされました。

何も関係が無いなら時系列報告書を書く必要はない！！

事実関係をはっきりさせないままに時系列等報告書を強要する会社の姿勢は、自己保身の事しか考えていない証であることが、今回の事象でより一層鮮明になりました。

私たち仕業検査車両所分会は、会社の自己保身の為のものでしかない時系列等報告書の強要を断じて許すわけにはいきません。断固抗議をすると共に担当社員に時系列等報告書を強要した田中助役の謝罪を求めます！